

# 繁盛に自信

菖蒲

## ホットハートフェス



販売とコンサートでぎわう会場

つと開催できて、皆さんとても喜んでいます。予想以上の人出でうれしいですね」と笑顔を見せます。

おもちゃなどの木工品を販売したワークスみぎわ（加須市）管理者の阿久津泰史さんは「幅広い客層の方に知つてもらえるのでありがたいです。売れた分が給料に反映できますので、利用者のモチベーションにもなっています」と話します。

初参加という川口結愛さんは「お客様も多く、場所も広くて緊張もあるけど、頑張って販売しています。新作のパウンドケーキが売れていました。」

同期中はコンサートも開かれ、「コルセイル」は2台の電子ピアノと伸びやかな歌声で会場を魅了。「アンパンマンのマーチ」では観客も手拍子し、一緒に歌いました。

来場した女性、新井さんは「歌いながら弾いていてかっこいい。『ケセラセラ』のサンの盛り上がりが良かったです」と喜び、蓬田峰さんは「キーボードの音色が奇麗。魔女の宅急便の曲は、ほっきに乗つて飛ぶ姿をイメージできました」と話しました。

久喜市に本部を置く障がい福祉サービスのNPO法人「あかり」は、市内や近隣地域の障がい者就労支援施設など14団体の商品を展示販売する「第28回ホットハートフェスティバル」を開きました。

エスティバル」を5月31日から6月2日まで菖蒲町菖蒲のショッピングモールで開きました。利用者たちが作ったパン、クッキー、陶器、さくらんぼ、クッキー、陶器、さくらんぼなどを熱心に販売していました。松田剛幸さんは、同イベントの参加は9年目のベテラン。「売れ行きはいい感じです。利用者同士

が並び、多くの買い物客でにぎわいました。同市、加須市、羽生市、宮代町、伊奈町で施設を運営する同法人の古堺大義さんは4年ぶりのエスティバルに、「や

埼東よみうり

2024年6月21日号掲載